

パウチ・円筒形電池用 真空静置・予備封止・サイドシール一体型装置

商品番号: RB34



前書き

パウチ型および円筒形電池の電解液注入後の真空静置、真空ヒートシールを行う装置です。圧力、温度、保持時間を調整可能で、PLCタッチパネル制御を採用。グローブボックス内での運用にも対応しており、一貫したラボ用電池組み立てワークフローやパイロット生産に最適です。

詳細を学ぶ

用途	説明	主な利点
パウチ型電池の電解液注入	注液後の真空引きと制御された静置を行い、電解液が電極スタックとより完全に接触・統合するようにします。	パウチ封止前の電解液浸透の一貫性を向上させます。
パウチセルの真空予備封止	静置工程後、アルミラミネート包装から残留ガスを除去し、空気圧による熱予備封止を行います。	ガス除去と封止を制御された再現性のある操作で統合します。
円筒形電池の電解液処理	制御された真空条件が必要な円筒形セルの注液工程において、電解液の吸収をサポートします。	ラボでのセル作製工程の一貫性向上に寄与します。
リチウム電池の研究開発	実験用セルフォーマットやプロセス最適化のために、温度、圧力、真空度、保持時間を調整可能です。	シール条件や電解液静置条件の制御された比較を可能にします。
グローブボックスでの電池組み立て	本体と制御ボックスの分離配置により、グローブボックス内の作業ガスをシリンダーの動力源として使用し、装置を操作できます。	制御された雰囲気下での組み立てワークフローとの互換性を維持します。
電池のパイロット生産	生産ラインに設置し、PLCタッチパネル制御を通じて繰り返しの予備封止サイクルを実行できます。	スケールアップやプロセス検証のためのコンパクトで調整可能な装置を提供します。
学術・先端材料研究	柔軟なセル作製パラメータを必要とする大学や材料研究ラボでの電池製造研究をサポートします。	再現性のある研究手順のための実用的なプラットフォームを提供します。

パラメータ	仕様
製品アイテム番号	RB34
製品機能	パウチ型電池の真空電解液静置、真空引き、熱予備封止；パウチ・円筒形電池の電解液吸収サポート
シールヘッド材質	真鍮
シールヘッド温度	室温～250°C（調整可能）
温度制御精度	±2°C
ヒートシール圧力	0～8 Kg/cm ² （調整可能）
ヒートシール時間	0～99秒（調整可能）
シールエッジ幅	5 mm（他の幅もカスタマイズ可能）
シールナイフ長さ	200 mm

パラメータ	仕様
シールヘッド平行度	3層感圧紙を使用し、シールヘッド空気圧0.6 MPa、温度200℃で均一なシールが可能
空気消費量	1シールあたり約0.2 Lの圧縮ガス
空気圧動作速度	≥180サイクル/時
加熱要素	250 W 加熱チューブ
加熱消費電力	加熱時 約0.5 kW
電源	220 V / 50 Hz
圧縮空気源	0.4～0.6 Mpa
グローブボックスガス要件	グローブボックス内で使用する場合、シリンダーの動力源にはグローブボックス内の作業ガスを使用すること
真空度	-95 KPa以上に到達可能（真空ポンプは購入者側で用意）
静置時間	0～9999秒（調整可能）
静置圧力	調整可能
チャンバー材質	アルミ合金
チャンバー特性	耐食性および構造的堅牢性
本体寸法	L510 mm × W360 mm × H640 mm
電気制御ボックス寸法	L450 mm × W400 mm × H260 mm
重量	約60 KG
制御システム	PLCおよびタッチパネル
装置構成	本体と電気制御ボックスの分離型
シールヘッド駆動	空気圧シリンダー駆動
シールヘッドガイド	2本のリニアガイドスリーブ
観察窓	チャンバー内の変化を観察するための透明な窓
サイクル機能	複数のサイクル操作が可能